

2021 年 FSC バーチャル総会 動議一覧

本資料は、2021 年 FSC バーチャル総会に提出された動議の投票結果をまとめ、FSC ジャパンが参考訳を提供したものである。訳に疑義がある際は常に英語原文が優先する。全動議の正式な英語のタイトルと投票結果は、以下のウェブサイトを参考にすること（FSC 国際会員のみが閲覧可能）。

参考 URL : <https://members.fsc.org/en/motions-platform-2020/motions-2021>

新型コロナウイルス（COVID 19）の影響により、元々2020 年にインドネシア・バリで予定されていた FSC 総会は延期されたのち、2021 年にはバーチャルで開催され、2022 年に対面およびオンラインのハイブリッド開催がされることとなった。

参考：投票の仕組み

可決されるために必要な票数は以下の通り:



- 投票に参加した FSC 会員全員の 3 分の 2 の賛成票を得ること。
- 投票に参加した社会、環境、経済の各分会に属する会員のそれぞれ 2 分の 1 の賛成票を得ること。

つまり、幅広い賛成票だけでなく、社会、環境、経済それぞれの利害に一致する動議でないと、可決はされない仕組みである。この投票制制度は FSC の特徴の一つである。

すべての動議を議論するための時間が不足する懸念から、まずは審議の優先順位付けが会員によって行われる。

つまり、時間切れにつき投票できなかった動議は、そもそも会員内の優先順位が低いものである。

色の説明：

-  緑色：可決（動議番号をクリックすると詳細が確認できる）
-  赤色：否決

2021年バーチャル総会において投票された動議

動議番号	提案内容	投票結果
M02/2020	FSC の通常総会の開催頻度を 3 年おきから 4 年おきに変更 FSC 総会の開催頻度を 3 年おきから 4 年おきに変更することで、総会準備、運営のコストと労力を軽減し、FSC が可決動議の実施により注力する時間を作る。	否決
M03/2020	FSC における最高の意思決定の場と最高権力機関の継続的な機能を守るために、バーチャル総会の仕組みを創設 FSC 国際会員が、直接会場で参加せずとも完全かつ積極的に FSC 総会に参加できる、利用しやすい代替手法を持つため、革新的、安全かつ効率的な電子システムによるユーザーフレンドリーな技術を開発する。	否決
M04/2020	地域オフィスへの会員の関与を高めることでネットワークを強化 この変更では、会員によって構成される地域ネットワークパートナーを作ることを目指す。現在、会員には地域オフィスがどのように管理されるかについて意見を述べる場がない。本動議の目的は将来的に会員が自身の地域に効果的に関与できるようにすることである。	来年のハイブリッド総会へ先送り
M05/2020	FSC 国際事務局のパフォーマンス FSC 国際事務局は、パフォーマンス、文化および透明性を向上する必要がある。	来年のハイブリッド総会へ先送り
M11/2020	FSC グローバル戦略計画の実施において社会、環境、経済指標を作成、適用 本動議の意図は、規格策定グループが持つ完ぺきな地域の社会、環境、経済的な現実の専門性、経験、力量をより活用することである。	否決
M15/2020	持続可能な集約生産 (Sustainable Intensification) 現在の「持続可能な集約生産」のプロセスを停止し、既存の FSC のプロセスと構造の中で関連議題について取り組むことを求める。	来年のハイブリッド総会へ先送り
M20/2020	気候緊急事態 FSC の中心に気候緊急事態を入れ込むことで FSC の活動と決定に気候緊急事態を反映する。	可決
M24/2020	熱帯保護地域における FM 認証を推進するための FSC によるアドボカシー 本動議の目的は、熱帯の国々におけるアドボカシープログラムの実施を通じて、熱帯の保護地域に住む人々の社会的・経済的な発展、生態系サービスの維持または向上、持続可能な管理や保全に貢献することである。	否決
M36/2021	基準 5.3 の削除 FSC の原則と基準の基準 5.3 を削除し、IGI を整合するように修正する。これには指標 5.3.1 と 5.3.2 に関する規格策定グループ向けの指示の削除も含む。	否決

M48/2021	<p>生態系サービス認証の手順簡素化、より多くのサービスの取入れ、可能性の最大化による向上</p> <p>本動議は、生態系サービス手順（FSC-PRO-30-006）および付属ガイダンスである FSC-GUI-30-006 を簡素化することで、FSC が生態系サービスプロセスを向上することを求める。</p>	可決
M57/2021	<p>遠隔審査の機会を拡大するための道筋</p> <p>FSC に対して、新型コロナウイルス（COVID-19）の影響とは関係なく、FM および COC 認証審査サイクルにおいて遠隔審査を実施する機会を増やすことを目的とし、一貫したリスクに基づく遠隔審査方法を作成、導入することを求める。</p>	否決
M61/2021	<p>世界中の FSC 認証林のデジタル地図の作成、公開</p> <p>FSC 認証の信頼性と透明性を高めるために、プライバシーと認証取得者のニーズを尊重した上で、世界中の FSC 認証林の地図を作成する。</p>	可決

可決された動議の詳細（動議番号順）

タイトル：気候緊急事態
動議番号：2020 年動議 20 番
<p>グローバル戦略の戦略 1（1.4 気候変動と生物多様性の消失に対抗するため、FSC の影響力と関連性を高める）及び、これまでの取組みに加えて、本動議は FSC 理事と事務局に対して、グローバル戦略の実施段階で気候変動と生物多様性の消失を中心に据えることを求める。このことによって、自身の認証林、生態系や製品が急速に変わりつつある世界において、現在そして将来のニーズを満たし続けることの保証を求める政府、企業や個人に対して、FSC は定量及び検証可能な分かりやすい成果を提供する制度として広く認識されるようになる。</p>

タイトル：生態系サービス認証の手順簡素化、より多くのサービスの取入れ、可能性の最大化による向上
動議番号：2021 年動議 48 番
<p>生態系サービス認証の可能性が効果的に認識されていないため、FSC に対して生態系サービス手順（FSC-PRO-30-006）及び付属するガイダンス（FSC-GUI-30-006）の手順を簡素化することで、プロセスを改善することを求める。本動議は生態系サービス認証をより理解しやすくかつ容易に利用可能にし、同時に費用を下げることを意図している。最終的な目的は、FSC 生態系サービス認証の理解を加速し、FSC が持つ気候変動の緩和や調整における役割を示すことである。生態系サービスの対象を現在の 5 種類から拡大し、妥当な場合は様々な生態系サービスをひとつの表示の下にまとめることで市場性を高めることができる。要望する具体的な活動は次の通りである：</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 手順及びガイダンス文書を改善し、より理解しやすくすること。 (2) FM 認証と一緒に生態系サービスの検証プロセスを行う選択肢の活用を奨励する。

(3) 従来の製品重視のアプローチではない方法で、より広い市場へ届くようにする。
概して、生態系サービス認証は、気候変動の緩和など、環境に対する複数の森林サービスの価値について社会全般の認識を高め、人々の生活や生物多様性の維持に必要なサービスの継続性を確保することができる。本動議は FSC グローバル戦略の目的に完全に合致している。まとめると、本動議が実施された際には、すべての分会にとって Win-Win の状況となり、アプローチを強化するための事務局の努力を支援することになる。

タイトル：世界中の FSC 認証林のデジタル地図の作成、公開

動議番号： 2021 年動議 61 番

本動議が可決されてから 1 年以内に、FM 認証取得者に対して FSC インターナショナルに自身の認証地のデジタル地図を提供することを求めることで、FSC インターナショナルはすべての FSC 認証林の内部利用のための地図を保持することができるようになる。提出が必要なデータは、認証取得者名、認証番号、認証機関及び認証地域の境界情報である。

認証取得者がこれらの情報を提供する際に、FSC インターナショナルは認証林の境界データが認証林公開地図に表示されることに同意をするか尋ねる。同意は完全に認証取得者の意思に基づき任意である。FSC 認証データベースでは、認証森林管理区画が公開地図に表示されているかどうか確認ができる。

所有地や管理区画の境界の位置を FSC に開示することが法律で禁止されている場合は、これらの情報を提供する必要はない。

FSC スタッフは技術的な能力が限られる小規模森林所有者と認証取得者に対して、以下を含む便宜を図る：

- ・ Google Earth やその他の無料で利用できる地図プラットフォームを用いて作成したデータを受けとるための仕組みを提供する。
- ・ 対応までの期限の延期を認める。
- ・ 多くの小規模森林所有者を含むグループ認証の場合、個々の森林の境界を代表する地図上の特定の地点を提供することができる、最大面積を定める。定めた面積よりも小さい森林を有する場合は、この森林の境界の代わりに代表する地点情報を提供できる。